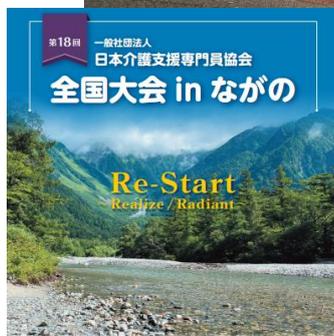


『第18回 一般社団法人日本介護支援専門員協会 全国大会 in ながの』に参加して

報告者：みずほサポートセンター 小島 明香



2024.10.26(土)・27(日)

開催場所 / ホクト文化ホール ほか

主催 一般社団法人日本介護支援専門員協会
共催 一般社団法人長野県介護支援専門員協会

特別講演では、「いのちの煌めきを共創るケア」と題して、医療法人 ぼちぼち会 おく内科在宅クリニック理事長 奥 知久氏のお話を聞きました。話の中では、医師と介護支援専門員の連携について、いける医師といけていない介護支援専門員の組み合わせよりも、いけていない医師といける介護支援専門員の組み合わせの方が、より多くの「幸せ」を利用者やそのご家族に感じてもらうことができる良い職種だということを利用者の立場から教えてもらいました。介護支援専門員は利用者の身近で思いを聞き取ることができるという点が一番の強みであり、その中から得る気づきこそが利用者の人生を「その人らしく」終わらせることができるのだと学びました。ユーモアとは「にもかかわらず笑うこと」とアルフォンソ・デーケン氏の言葉を教えてくださって、笑うこと・幸せを提供することを考える介護支援専門員になりたいと思いました。「ケアマネは幸せの番人」との言葉が心に残っています。

記念講演「30年間誰にも言えなかった僕の家族の物語」では、一般社団法人 生活互助支援の会 代表理事であり、ご自身が元ヤングケアラーである美齊津 康弘氏のお話を聞きました。ヤングケアラーにも言えることは、若くなくてもケアに追われている家族にも当てはめることもできると思いながら話を聞きました。介護で追い詰められている家族や介護で自分の人生を過ごせていない家族に気づき、寄り添うこと、相手が若くても若くなくても同じように寄り添うことができる介護支援専門員でいられたらと思いました。心折れないように、心をつぶされないようにと話した先生の言葉がとても重く感じました。



その他にも、基調講演「介護保険制度の現状と今後の動向について」として厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課課長の吉田 慎氏からの話や日本介護支援専門員協会の活動報告、川柳表彰などがあり、2日目には「意思決定支援」「地域共生社会」「業務の効率化」「人材育成」「労務管理」についての分科会での日本全国からの介護支援専門員の方の発表もあり、ワークサポートケアマネジャー実践報告「ワクサポ0→1」を一般社団法人 日本介護支援専門員協会介護離職防止支援への介護支援専門員の関与（ワークサポートケアマネジャー）についての特別委員会委員長である三浦浩史氏のお話を聞きました。盛りだくさんな内容でとても勉強になりました。

日本各地で一人一人の介護支援専門員がそれぞれの仕事を通して利用者やそのご家族の支援をしていることを感じる事ができた素晴らしい研修だったと思います。参加して良かったです。